

平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 株式会社グローバルダイニング 上場取引所 東
 コード番号 7625 URL http://www.global-dining.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)長谷川 耕造
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員最高財務責任者 (氏名)中尾 慎太郎 (TEL)03-5469-3222
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	2,289	3.5	△73	—	△93	—	△114	—
28年12月期第1四半期	2,212	△1.3	△75	—	△106	—	△107	—

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 △144百万円(—%) 28年12月期第1四半期 △176百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	△11.37	—
28年12月期第1四半期	△10.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	7,045	3,975	56.2
28年12月期	7,608	4,118	53.9

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 3,957百万円 28年12月期 4,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,901	5.1	△36	—	△54	—	△65	—	△6.50
通期	10,125	3.8	58	—	62	540.4	11	—	1.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年12月期 1 Q	10,081,800株	28年12月期	10,081,100株
29年12月期 1 Q	270株	28年12月期	210株
29年12月期 1 Q	10,081,035株	28年12月期 1 Q	10,070,035株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響などにより先行き不透明な状態で推移しました。

外食産業におきましても、消費マインドに持ち直しの動きがみられるものの、依然として節約志向も強く不安定な状況が続いております。

こうした中、当社グループは顧客満足度を高めるため、商品・サービスおよび空間の品質向上を実施いたしました。健康志向・インバウンド層など多様化するマーケットに適応するメニューや業態の開発、人材の発掘と教育に力を入れサービスの向上に取り組みました。また、1月に台東区雷門に「権八 浅草吾妻橋」を新規出店いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、22億89百万円（前年同期比3.5%増）となり、当第1四半期連結累計期間末の総店舗数は49店舗となりました。

報告セグメントについては、当社グループはレストラン経営を主とする飲食事業という単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

売上高をコンセプト（営業形態）別にみると、「ラ・ボエム」は6億47百万円（前年同期比1.9%増）、「ゼスト」は85百万円（同1.3%減）、「モンズーンカフェ」は5億55百万円（同2.3%減）、「権八」は5億89百万円（同1.6%増）、「ディナーレストラン」は1億94百万円（同0.3%増）、「フードコロシウム」は47百万円（同2.3%減）、「その他」は1億70百万円（同70.4%増）となりました。既存店売上高につきましては、前年同期比1.3%の減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して5億62百万円減少し、70億45百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比較して4億54百万円減少し、9億7百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が3億10百万円、受取手形及び売掛金が1億3百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末と比較して1億7百万円減少し、61億38百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産が98百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末と比較して2億42百万円減少し、12億26百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が59百万円、未払法人税等が42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末と比較して1億76百万円減少し、18億43百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が1億62百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して1億43百万円減少し、39億75百万円となりました。主な変動要因は、利益剰余金が1億14百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の連結業績予想につきましては、売上高101億25百万円、営業利益58百万円、経常利益62百万円、親会社株主に帰属する当期純利益11百万円を見込んでおります。

なおこの予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	607,217	296,319
受取手形及び売掛金	392,255	288,437
商品及び製品	15,295	8,565
原材料及び貯蔵品	171,856	150,357
その他	175,117	163,504
流動資産合計	1,361,742	907,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,575,489	8,414,624
減価償却累計額	△6,182,168	△6,106,608
減損損失累計額	△493,507	△468,088
建物及び構築物(純額)	1,899,813	1,839,927
土地	2,678,860	2,650,566
その他	281,487	271,240
有形固定資産合計	4,860,161	4,761,734
無形固定資産	7,962	7,195
投資その他の資産		
差入保証金	1,332,725	1,332,725
その他	45,431	36,827
投資その他の資産合計	1,378,157	1,369,553
固定資産合計	6,246,280	6,138,483
資産合計	7,608,023	7,045,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	376,889	317,603
1年内返済予定の長期借入金	245,684	220,209
未払法人税等	63,434	21,187
引当金	4,696	15,000
その他	778,230	652,699
流動負債合計	1,468,935	1,226,699
固定負債		
社債	670,000	670,000
長期借入金	701,914	539,019
退職給付に係る負債	32,883	34,914
資産除去債務	567,595	569,329
その他	48,086	30,400
固定負債合計	2,020,480	1,843,663
負債合計	3,489,415	3,070,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,474,256	1,474,307
資本剰余金	2,129,256	2,129,307
利益剰余金	605,427	490,814
自己株式	△218	△234
株主資本合計	4,208,722	4,094,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,636	6,148
為替換算調整勘定	△113,422	△142,787
その他の包括利益累計額合計	△106,785	△136,638
新株予約権	16,670	17,746
純資産合計	4,118,607	3,975,303
負債純資産合計	7,608,023	7,045,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,212,680	2,289,732
売上原価	2,067,338	2,115,553
売上総利益	145,341	174,179
販売費及び一般管理費	220,687	248,015
営業損失(△)	△75,345	△73,835
営業外収益		
協賛金収入	-	8,680
その他	5,557	5,065
営業外収益合計	5,557	13,745
営業外費用		
支払利息	5,832	5,797
為替差損	29,209	27,558
その他	1,469	383
営業外費用合計	36,510	33,738
経常損失(△)	△106,298	△93,828
特別損失		
減損損失	-	9,176
投資有価証券評価損	-	7,184
特別損失合計	-	16,361
税金等調整前四半期純損失(△)	△106,298	△110,190
法人税、住民税及び事業税	4,007	4,110
法人税等調整額	△2,927	310
法人税等合計	1,080	4,421
四半期純損失(△)	△107,379	△114,612
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△107,379	△114,612

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△107,379	△114,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,351	△488
為替換算調整勘定	△66,182	△29,364
その他の包括利益合計	△69,534	△29,853
四半期包括利益	△176,913	△144,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176,913	△144,465
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店等の新たな情報の入手に伴い、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用及び店舗の使用見込期間に関して見積りの変更を行いました。見積りの変更による増加額を変更前の資産除去債務残高に9,176千円加算しております。

なお、この変更に伴って計上した有形固定資産については、減損損失として処理をしましたので、当該見積りの変更の結果、当第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純損失は9,176千円増加しております。